

平成 22 年度第 10 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 22 年 10 月 18 日 16 時～16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴木、北村、山中、田中、牧野、家崎、松岡、大西 (敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	生駒 直美
研究名	回復期病棟における読み書き計算も効果
研究内容 要旨	音読と計算を中心とする教材を用いた学習を、学習者とスタッフがコミュニケーションをとりながら行うことにより、学習者の認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能などの前頭前野機能の維持・改善が報告されている。読み書き計算を当院にて実施し、学習者の認知機能などに働きかけることで機能の維持・改善の効果を調査する。
審議結果	承認
意見	特になし
新規研究計画の審議	
申請者	伊藤 友子
研究名	りんご酢を使ったスキンケア～皮膚トラブルの改善を目指して～
研究内容 要旨	オムツを使用して、皮膚トラブルを起こしている患者様に対し、りんご酢を噴霧することで改善がみられる事を期待し、今後皮膚トラブル時に早期改善をはかれることを目的とする。
審議結果	差し戻し
意見	使用するりんご酢が先行研究で用いられ、効果があったものと同いかどうか確認を要する。 説明書の科 B、C レベルについて、わかりやすい言葉で解説する。 りんごアレルギーのある患者は被験者としてしないように配慮する。
新規研究計画の審議	
申請者	生駒 直美
研究名	回復期リハビリテーション病棟より自宅退院した患者の追跡調査
研究内容 要旨	当院回復期リハビリテーション病棟を自宅退院した者に対し、当院施設にて半年毎に ADL 評価、運動機能評価および精神機能評価を実施し、在院時との比較や経時的変化を調査する。
審議結果	承認
意見	説明書の FIM、ADL、TUG、CS30 などの略語について、わかりやすく説明する。 同意書の「遺伝子解析研究」「バンク事業への協力」などの記載は削除する。